

烏丸通沿道懇談会設立趣意書

烏丸通は、京都市の中央部を南北に連絡する京都市を代表する幹線道路であり、その沿道には銀行等の金融機関やオフィスビルが集積し、京都におけるビジネスの中心的な役割を果たしている通りです。

近年、社会経済情勢の変化などに伴い、業務系施設用地において建て替えにより高度利用の一層の進展がみられるほか、新たな商業施設の立地や既存建物の商業用途への転換が進むなど、活発な土地活用が進められつつあります。

このような活発な土地活用の展開は、通りにさらなる活力を生み出すことが期待されますが、一方では、格調ある烏丸通にふさわしくない用途の進出や建物の立地も懸念されます。

そのため、これからの烏丸通の将来イメージを明らかにし、通りにふさわしい建物の用途や建て方、景観等についての意見交換を行い、良好な商業・業務環境の創出に向けたルール（地区計画）を市に提案していくとともに、継続的なまちづくり活動につなげていくことが必要と考えます。

以上の考え方にたって、烏丸通沿道の地権者の方々による烏丸通沿道懇談会を設立するものです。

平成18年8月29日

烏丸通沿道懇談会設立発起人会